

制作テーマに関する詳細

①テーマ	救急相談窓口
②訴求内容の詳細及び留意事項など	<p>背景及び現状</p> <p>全国的に救急搬送の件数は増えており、本県においても例外ではない。一方で、救急搬送される患者の4割以上が軽症であり、軽症患者が救急病院に集中することで、本来救急医療の必要な重症患者を受け入れられなくなってしまうことが危惧されることから、症状にあった適正な医療の受診が求められている。</p> <p>こういった背景から、本県では急な病気やケガ等について、救急車の要否や適切な処置方法についての助言・医療機関の案内を行う相談窓口（#7119）を設置し、また、医師のバックアップのもと、専門の看護師が小児救急患者の家族等からの電話相談に対して、助言を行う相談窓口（#8000）を置いている。</p> <p>どちらの相談窓口についても相談件数は例年増加傾向にあり、一層の周知により適正な医療の受診を促進していくことが重要である。</p>
	<p>訴求の主な対象者</p> <p>県民全体</p>
	<p>具体的な訴求内容</p> <p>「具体的にどのようなときに相談すればよいのか」ということについて、できるだけ身近に「近い将来起こりうる」と感じる状況を想定して発信したい。</p> <p>また、本当に救急車が必要な場合には躊躇しないような呼びかけも行いたい。</p> <p>【具体例】</p> <p><#7119の場合></p> <p>男性(高齢者)が転倒して怪我をして立てなくなってしまったため、自ら架電し救急車を呼ぶべきかを相談。</p> <p>※#7119での外科的相談件数は多い。</p> <p><#8000の場合></p> <p>夜中に子供が高熱を出したが、ただの発熱なのか病気なのか判断がつかず、どうしていいかわからない母が架電し、対処の方法を相談。(母：不安な様子→安心した様子に変化)</p> <p>※#8000での発熱相談件数は多い。</p>
	<p>制作に関する留意事項</p> <p>#8000と#7119の映像で重複する部分をなくし 相談者の属性を「家族(女性)」と「本人(男性)」、 患者属性を「こども」「高齢者」、 症状を「外科」と「内科」で分けることで 幅広く相談を受けている印象を持ってもらいたい。</p> <p>また、使用するBGMは深刻になりすぎない程度にしたい</p>
<p>関連資料URL</p> <p>https://www.pref.nara.jp/53886.htm 県HP「#7119」 https://www.pref.nara.jp/44823.htm 県HP「#8000」 https://www.pref.nara.jp/54433.htm 県HP「こども救急チャンネル」</p>	
③素材の提供	チラシデータの提供可能
④その他の留意事項	#8000に関しては、こども救急チャンネルへのリンク(QR等)も入れられないか検討